

2010 年 第 5 回北海道に夜間中学をつくる会事務局会議のまとめ

10 月 7 日（木）、午後 6 時半より第 5 回の事務局会議を開催しました。出席者は、工藤共同代表、泉事務局長、飯塚、工藤（朱）、小寺、佐々木、篠原、白倉、谷岡の 9 名です。

議題

1. 第 2 回北海道自主夜間中学生生活体験発表交流会の記録集の印刷・製本について
2. 自主夜間中学研修交流会の進め方についての意見交換会
3. 札幌市長との話し合い（9 月 17 日）の報告と今後の市教委との話し合い。
4. 第 56 回全国夜間中学校研究大会、すべての人に義務教育を！拡大専門委員会への参加
5. その他

議題 1 について

道内各自主夜間中学の受講生、学習者さんやスタッフおよび支援者に配布するため、600 冊の印刷をおこなうことにしました。

印刷と製本は、10 月 23 日（土）におこないます。製本の開始時間は、午後 2 時半より。お手伝いいただける人たちに声をかける。

議題 2 について

日程は、10 月 30 日（土）午後 1 時から 4 時をめぐりに実施。

場所は、北海道教育会館（4 階特別会議室）。

話し合いの内容については、事前に決めるのではなく「自主的な参加と運営」ができるように忌憚のない意見をだしてもらおう。その上で、次回（第 3 回の交流会）をどのように実施するかをまとめる。

司会は泉事務局長。この時に、生活体験発表交流会の記録集をお渡しする。

議題 3 について

市長が多忙でもあり、限られた時間（20 分）での話し合いのため、事前に内容を提出しました。

出席者は、市側が市長、教育長、生涯学習部長、生涯学習推進課課長です。

つくる会が、工藤共同代表、泉事務局長、飯塚・白倉事務局次長、境、篠原、白倉、井上遠友塾代表、伊藤市議（市民ネット）

その上で、遠友塾各教科担当から、遠友塾の今年度「授業計画と運営」にもとづいて、授業の現状を説明しました。

市長からは、夜間中学の存在は、「社会経済的な損出」であり、経済界も巻き込んだ学校づくりの構想が話されました。また、そうすることが「新しい公共」にもかなうという大きな構想が話されました。

予定時間を 20 分も超える話し合いになりました。

事務局会議ではその出席者一人ひとりから、どのように受け止めたかを話してもらいました。

そして、前向きな意見であっても、これを市教委の事業運営とするにはさまざまな調整のしなければならないことが推察され、市長の話しをどのように受け止めたか、窓口レベルの話し合いを、10 月 15 日（金）におこないます。

出席者は、泉事務局長、飯塚・白倉事務局次長、富田遠友塾副代表です。

議題 4 について

日程が、12 月 2 日（木）、3 日（金）の両日開催です。つくる会から、3 名から 4 名の出席で調整をする。

議題 5 について

釧路では、「くるかい」を母体に「釧路に夜間中学をつくる会」（代表菅さん）が結成されております。

次回会議

11 月 4 日（木）午後 6 時半より

エルプラザ 2 階会議室